

和 気 品
合 魄 位

高島市立マキノ中学校

学校だより



文責：校長 清水

第77回卒業証書授与式～生徒会スローガン「飛笑」を誇りに～



これからの道を歩むために、次の四点のことをお伝えします。

一点目は、日常の何気ないことを丁寧にやっていくことが生きる力になるということです。このことは、毎日の学習だけをいっているのではありません。生活していく上で必要なことも含みます。何気なくやっている、ささやかなことが生きる強さになっていくと思います。

二点目は、みずみずしい感性を大事にしてほしいということです。たとえば、朝日の輝きや素晴らしい演奏やプレーに感動する心、体育祭で声援を送ったり感謝を伝えたりする気持ちなども、その一つではないかと思います。

三点目は、自分の目標や夢をもち、今やるべきことを粘り強くやるということです。そのなかで、困難にであうこともあるでしょう。そんなとき、一つのものの見方にとらわれたり、こだわりすぎたりしていないかと確かめてみてはいかがでしょうか。そして、逆境をプラスにかえてやるという強い気持ち、気魄を大事にしてほしいと願っています。

四点目は、感謝する心を忘れないでほしいということです。今こうして日常生活を送っていることは、自分一人だけの力ではありません。ここにおられる保護者の方をはじめ、多く人に支えられて、今があります。「支えられている」という感性を磨き、「ありがとうございます」という言葉を大事にして生活してください。

名残惜しいですが、次の言葉を贈ります。

今を精一杯生きていく。そして、自分にとってよりよい道を探っていく。自分で自分を勝手に評価して、しばらないでください。チャレンジすることを恐れなくてください。エラーはつきものです。でも、それは自分を高めるチャンスです。エラーとは言えません。自分の道を歩むのは自分自身。それを支えてくださる方に感謝する心とみずみずしい感性を大事にして、未来を切り拓いてください。生徒会スローガン「飛笑」を誇りにして。(式辞より一部抜粋)

今年度の教育活動を振り返って【学校運営協議会の声から(要約)】

◎ 学力の向上

授業参観や全校集会等において、グループ学習を効果的に取り入れ、生徒は前向きに話し合い、主体的に発表している。教師も生徒もよく努力している。興味・関心を高める工夫や学び合う場、振り返り学習に引き続き尽力していただきたい。

◎ 豊かな心づくり

心の成長の場としての道徳教育で自分の思いを出し合っている。また、委員会、班活動、縦割り活動が充実し、園小中・地域との交流も取り組み、落ち着いた学校行事ができて、心の成長にもつながっている。

◎ 健康な心身の育成

挨拶がしっかりとでき、素晴らしい。また、いろんな外部講師を招いて、健康に関しての生徒の興味・関心を高めている。

◎ 園小中・保護者・地域とともにある学校の創造

園小中の交流や地域との連携が充実し、よりよい学びとなっている。また、拡大学校運営協議会では、大人と子どもが意見交流する場があり有意義であった。地域の魅力や現状と課題を考え、周囲の人たちとの関わりを深める取組を工夫し、生まれ育ったマキノを引っ張っていく子らの成長を願っている。

仲睦まじい3年生を送る会

3月7日(金)に、1、2年中心の生徒会役員で企画し、「3年生送る会」を実施しました。そこでは、全校縦割りグループを活用し、「校内探検すごろくゲーム」「イントロ当てクイズ」を行いました。和気あいあいとした取り組みで、「和合」を表現していたと感じました。会の締めくくりには、下の写真のように1、2年生から3年生へ、3年生から1、2年生へと感謝の言葉を伝え合う姿がみられ、心温まる時間を送ることができました。



大変お世話になりました

今年度も本校の教育活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございました。生徒信条「品位」「気魄」「和合」を柱にして、「思いやりの心や粘り強さを大切にし、自ら考え判断し行動する生徒」をめざして、「考えを交流する授業」「生徒が主役となって活躍する教育活動」「園小中や地域との交流活動」を中心に取り組んできました。生徒たちもよく努力し、落ち着きのある学校生活を送ることができています。

思春期は「立派な大人へとなる『さなぎの時期』で、時には揺れ動くが、それが大きな成長へとつながっていく」と、ある臨床心理士の講演で聞いたことがあります。わたしたち大人は子どもの成長に希望をもって支えていきたいものです。今後ともご支援とご協力のほどよろしくお願いいたします。